

地域教育実践中予ブロック集会2025

子ども・未来が輝くシン・地域教育
～沈む夕日が立ち止まるまちから～

30分前に
受付終了!?
前のめりな
みなさん!

- ◇会場 伊予市立翠小学校
- ◇日時 2025年1月25日(土) 14時~17時
- ◇人数 47名

校長先生の
ご厚意で
校舎ツアー



1 オープニング 趣旨説明(遠藤敏朗実行委員長)
開催地歓迎メッセージ(赤石雅俊)

2 実践発表(ナビゲーター・宇津博美)

- (1) 「#伊予農福連携プロジェクト」 愛媛県立伊予農業高等学校生活科学科 教諭 藤川幸恵
- (2) 「双海町ジュニアリーダー会について」 中野珠里 二宮莉穂 宇都宮來美

3 ワークショップ(MC・土井慶樹&中村克史)「シン・地域教育を語る」(参加者全員)

4 エンディング 総括(若松進一)

次回開催地メッセージ(平岡剛)

【総合司会 阿部眞子】

実践報告

双海町ジュニアリーダー会

「未来をつくる こどもまんなかアワード」で内閣総理大臣表彰を受けたばかりの双海町ジュニアリーダー会。「はじまりは、たった一人の中学生の『自分たちを育ててくれた子ども教室に恩返しをしたい』という想いから」という言葉に驚いた人も多かったようです。



リラックスした雰囲気
でのリハーサル♪
まるで四姉妹のような
新旧ジュニアリーダーたち

特大！の愛情を注ぎ続けてきた地域住民、子どもたちに寄り添いながら叱咤激励してきた歴代主事さんたちとの軌跡が、映像とともに紹介され、会場からは拍手や笑い声が。

通学合宿のサポート、肝だめし大会の企画運営、ベンチ作り・・・確実に地域に活気を生んでいる若者の力に、会場からは「地域に見守られながら挑戦する姿が頼もしい！」と感嘆する声が聞かれるとともに、

「先輩の姿を見て、かっこいいなあ～と思うことが、地域のつながりづくり・地域づくりには大切ですね」という気づきの声が聞かれました。



文字通り陰で見守る
声の小さい元主事

#伊予農福連携プロジェクト

県内外の企業や特別支援学校、福祉事業所とのコラボ事業の数々に、「どうしてこんなにすごい活動が!?」と驚きましたが、発表が進むにつれて、「この先生の情熱・行動力があるからこそ！」と得心しながら聞き入りました。

抜群のコーディネート力を持つ先生からのパスポートを、しっかりと受け止め、専門的な知識や技術、感性やアイデア、チームワークで、地元食材の可能性を限りなく広げている高校生の主体的な学びの数々。会場からは「自分たちの専門性を生かした実践的な学びができていてすばらしい」「企業と学校との双方にメリットがある取り組み」などの声が上がっていました。

伊予市にある唯一の
高校、伊予農業高等
学校の存在感を再確
認させる藤川先生の
発表。

生徒の力を引き出す
秘訣は、やはり大人
の全力投球！？



食材への愛情とユーモアたっぷりの商品名はキャッチャーなものばかり。藤川先生の解説は、生徒の頑張りと商品の魅力を存分に伝えるもので、リアルタイムアンケートでは「食べてみたい！」の声や「どこで買えますか？」の質問が続出！挑戦することへのリスクと応援の輪を広げていく、農×福の力を感じる発表でした。

遠くから見ても
大きい二人



ワークショップ

「『シン・地域教育』を語り合いましょう」の言葉に、一瞬戸惑いつつも、すぐにみなさん熱く語りはじめました。

それぞれの地域教育、それぞれの「シン・新・真・心・進・伸・一」。一人一人の「語り」に心を動かされながら、自由に盛り上がりしていくこの場にこそ、つながりを築き、深める「地域教育」の醍醐味があるのかもしれません。

安定の
MC★Doi

近くで見ると
いっそう大きい
テカムラさん



讃岐幸治先生は、中予ブロック集会に、「すぐに駆け付けられる距離にいる者どうしが頼りあい支えあえる関係作りの場を」と期待を寄せていきました。
この集会で生まれたつながりが、一人一人の支えになりますように！

双海の活動が「たった一人から始まった」と聞いて勇気をもらった。

早く興居島に帰って、子どもたちと一緒に地域教育を作り上げてみたいと思った。

(高橋さんのコメントより)



★ICTも充実★

ジムチョーが手掛けるICT機器操作のおかげで円滑・快適な機器操作！

当日はもちろん、会場下見時に撮影した360度カメラの映像で、後日、メンバー全員があらかじめバリアフリー・チェックと動線を把握することができました。

記念品のコースターも機器を駆使したオーダーメイド、オリジナルのデザインです！



★DE&Iを目指して★

すべての人に障害を作らない地域教育～Diversity+Equity+Inclusion～を（多様性+公平・公正性+包摂性）

目指して運営しています。

案内文書や当日資料、発表方法など、情報保障を考え伝え方を工夫したり、バリアフリー・チェックをしたり・・・。

対話と試行錯誤のプロセスを大事に、地域教育でwell-beingを実現します！



★手仕事のあたたかさ★

MC★Doiのリクエストで、今年、トークテーマを決める方法は、サイコロに！？「作れますか？」の問い合わせに、やわらかな笑顔で「お任せください」と答える谷川さん。

そして、センスの良いチラシは、南予出身だ



けど中予のホープ
あべまこちゃんの
デザイン！
あたたかな雰囲気
を作り出す名人に
感謝です。

実行委員会 チーム中予

地域教育実践中予ブロック集会実行委員会で活動したい方は事務局までご連絡ください！

→ehime.aishiba@gmail.com (柴崎)

★みんな違って みんないい★

中予ブロックのメンバー全員超多忙！県外在住者もいて、思うように集えず、会議参加〇回のまま当日を迎えたり、「最後まで残れない～！」という人も。

でも、同じ思いでつながっている安心感。顔を合わせた途端、人生相談が始まりたりして、実家のような心地よさ（？）が自慢です。

今年新加入の伊吹さんも大活躍。準備・片付けをついつい手伝ってしまったチャンヒさんとさやかさん、きっと来年度はメンバーです☆みなさんも、ぜひ実行委員会へ！